

BUSINESS

リーダーになる！
実践する上司学。
よきリーダーに、よき上司になるために。



嶋津良智 ■リーダーズアカデミー学長。早稲田大学講師。大学卒業後、IT系ベンチャー企業に入社、トップセールスマンとなり、24歳で最年少営業部長に就任。1993年に独立、起業。94年に共同で情報通信機器販売の新会社を設立。2004年にIPOを果たす。05年に教育機関、「リーダーズアカデミー」を設立。

第6回 間違ったワークライフバランス

今回はワークライフバランスについてお話ししたいと思います。実は、わたしはこの言葉に相当な違和感を感じています。

なぜ違和感を感じているかというと、本当の意味でワークもライフも充実させている人は、決してその二つを分けた生き方をしていないということ。ライフの一部がワークだ

という生き方をしている人が、本当の意味での幸せや豊かさを感じている気がしてなりません。逆をいえば、ワークとライフを分けている人ほど、意外と幸せでなく、本当の意味での豊かさを手にしていない気がしま

す。

あなたは、人生は突き詰めるのと三つのカテゴリに分けられることをご存じでしょうか。それは、「睡眠」「プライベート」「仕事」です。1日24時間ですから「睡眠8時間」「プライベート8時間」「仕事8時間」、8時間×3＝24時間、これは最高の時間の使い方だといわれています。ところが、現実として残業をすることもあつて、通勤時間なども仕事の一部と考え

れば、働いている限り、圧倒的に仕事に費やす時間が多いのが分かります。

このもつとも時間を費やす「仕事」がやりがいがなかったり、楽しくなかったりして、どうしてライフの充実があるのでしょうか？ 人生の大変多くの時間を費やす仕事に充実していかなくて、私的な充実はないといつても過言ではありませぬ。

要するに、仕事を充実させない限り私的な充実がないということ。本当の意味で人生の幸せや豊かさ、楽しみを感じるには、分けること自体に無理があるということなのです。

そういう意味では、ワー

ークライフバランスではなく、ビュティフルライフの方が正しい気がしています。仕事が「できる」「できない」をX軸、プライベートが充実「している」「していない」をY軸で切ると、以下の四つのパターンに分けられます。

- 1、仕事もプライベートも充実している人
- 2、仕事は充実しているが、

プライベートは充実していない人
3、仕事は充実していないが、プライベートは充実している人
4、仕事もプライベートも充実していない人

さて、あなたは、どの人になりたいですか？ また、本当の意味で仕事ができ、豊かさも、幸せも、楽しさも手に入れている人はどの人だと思えますか？

ぜひ、ワークとライフを分けて、ライフの一部にワークを組み込み、「どんなビュティフルライフを送るか？」を考えてほしいと思います。

(記事協力: Aiga X)

リーダーになるツール
役立つ書籍や道具などを紹介



『ブレイングマネジャー入門』

20から40代のブレイングマネジャーの話聞き、見えてきたのは人間関係と時間の問題。それを解決する「リーダーシップ」「コミュニケーション」「マネジメント」「効率よく自分の結果を出す」「チームの作り」が紹介される。さらなる高みへ向かう1冊(フォレスト出版・1470円)